

第17回メキシコ全国日系人大会 堀井副大臣祝辞（ビデオメッセージ）

日本国外務副大臣の堀井巖でございます。メキシコのグアナファト州レオンにおける「第17回メキシコ全国日系人大会」の開催に、心よりお祝いを申し上げます。また、ガルシア州知事やグティエレス市長をはじめとするグアナファト州やレオン市の関係者の皆様方におかれては、今次メキシコ全国日系人大会の開催に御協力いただいたことに謝意を表明します。

本年は、日墨協会設立70周年、来年は、日本人メキシコ移住130周年、さらに、再来年は、日墨外交関係樹立140周年と日本とメキシコの二国間関係にとって非常に重要な時期が続きます。今次メキシコ全国日系人大会は、この重要なモーメントの最初の大きなイベントであると承知しております。

日本とメキシコは自由、民主主義、人権、法の支配といった基本的価値や原則を共有し、これら価値に基づく国際秩序の維持と強化に共に貢献する「戦略的グローバルパートナー」です。真の友人として、長きに亘り、共に助け合い、共に発展してきました。この両国の歴史において、現在約7万9千人を擁する日系社会が、経済、文化、社会等様々な分野で多大な貢献をされ、両国の架け橋になってこられたことに心より敬意を表します。

私は、これまで何度もメキシコを訪問し、日系人の皆様方と意見交換をさせていただいております。本年1月にもメキシコを訪問し、日墨会館の視察や日系人の皆様方との意見交換に加え、グアナファト州も訪問し、ガルシア州知事、グティエレス市長、バヒオ日系人会の皆様ともお話をさせていただきました。

日系人と意見交換をさせていただく度に、メキシコという日本から遠く離れた地で日系人の皆様が多く苦難を乗り越えながら、この地に根付き、様々な分野で活躍されていることを実感します。皆様がこれまでメキシコ社会の発展に貢献し、築き上げてきた信頼があったからこそ、今日の日墨関係が存在していることを確信しております。このような皆様の貢献に関し、この機会を借りて今一度御礼申し上げます。

4月21日に日墨首脳電話会談が開催されたことが示すように、日墨関係の重要性は増しております。このような中で、両国関係を支える貴重な役割を果たされている日系人の皆様方の存在もまた、ますます重みを増しています。日本政府といたしましても、若手の皆様も含めたメキシコの日系社会との連携を一層強化しつつ、日墨関係を大きく発展させていきたいと思っております。

最後になりますが、日系人の皆様方のますますの御健康と御繁栄、そして我が国とメキシコ合衆国の一層の関係増進を心より祈念いたします。

日本国外務副大臣 堀井 巖